2026年11月26日

NEWS RELEASE

会 社 名　株式会社ティムス
代表者名　代表取締役社長 若林 拓朗
（コード番号：4891　東証グロース市場）

第37回日本糖尿病性腎症研究会およびATTD-ASIA 2026でのSMTPに関する発表のお知らせ

株式会社ティムス（以下「当社」）は、学校法人昭和医科大学と共同でSMTP化合物の薬理作用を解析した研究成果について、下記のとおり２つの学会にて発表を行いますのでお知らせいたします。

記

第37回日本糖尿病性腎症研究会（会期：2026年12月５日～12月６日）

◆発表概要

演　　題：真菌由来化合物SMTP-44Dの糖尿病性腎症に対する腎血管内皮保護メカニズムの解明

発　　表　者：栗根 大揮[1,2]、柴田 佳太[1,2]、寺崎 道重[3]、山岸 昌一[3]、蓮見 惠司[4,5]、野部 浩司[1,2]

1. 昭和医科大学大学院 薬学研究科 薬理学分野
2. 昭和医科大学 薬理科学研究センター
3. 昭和医科大学大学院 医学研究科 糖尿病・代謝・内分泌内科学分野
4. 東京農工大学大学院 農学研究院 応用生命化学部門
5. 株式会社ティムス

発　表　日　時：2026年12月５日（土）10:00～11：00

セ ッ シ ョ ン：一般演題２「基礎１」

発　表　形　式：口頭発表

会　　場：都市センターホテル　５Ｆ オリオン 第３会場
東京都千代田区平河町２－４－１

第37回日本糖尿病性腎症研究会 Webサイト URL：https://dm-net.co.jp/jdnsg/kaisai.html

プログラム URL：https://dm-net.co.jp/jdnsg/JDNSG37_program.pdf

ATTD-ASIA 2026（第３回アジア先進糖尿病治療会議 / 会期：2026年12月９日～12月11日）

◆発表概要

演　　題：INTEGRATED TRANSCRIPTOMIC AND MECHANISTIC ANALYSES REVEAL A NOVEL MECHANISM UNDERLYING ENDOTHELIAL PROTECTION BY SMTP-44D IN DIABETIC NEPHROPATHY

発　　表　者：Taiki Awane[1,2], Keita Shibata[1,2]、Michishige Terasaki[3]、Sho-Ichi Yamagishi[3]、Keiji Hasumi[4,5]、Koji Nobe[1,2]

1. Showa Medical University Graduate School of Pharmacy
2. Showa Medical University Pharmacological Research Center
3. Showa Medical University Graduate School of Medicine
4. Tokyo University Agriculture. & Technology Graduate School of Agriculture
5. TMS Co., Ltd

発　表　日　時：2026年12月9日（水）8:30～19：00

セ ッ シ ョ ン：0130 - 糖尿病治療のための新薬（ID 100）

発　表　形　式：eポスター閲覧

会　　場：国立京都国際会館　E-Poster Stations
京都市左京区岩倉大鷺町422

ATTD-ASIA 2026 Webサイト URL：https://attdasia.kenes.com/

プログラム ePoster URL：https://cslide.ctimeetingtech.com/attda26/attendee/eposter/browse/gallery/

【株式会社ティムスについて】

株式会社ティムスは、アンメット・メディカル・ニーズに応えることを目指し、革新的な医薬品の発見と開発に注力し、研究段階から臨床段階までを手掛けるバイオ医薬品企業です。当社の研究開発品には、真菌由来のSMTPs（*Stachybotrys microspora* triprenyl phenols）と呼ばれる低分子化合物ファミリーが含まれます。リードパイプラインである TMS-007（JX10）は、急性期脳梗塞治療薬として日本での前期第Ⅱ相臨床試験において優れた有効性と安全性が示唆されました。その他に、急性腎障害、脊髄損傷といったアンメット・メディカル・ニーズの大きい疾患に対する治療薬パイプラインを有しています。当社は、アカデミア等における発見を世界の医薬品市場につなげる架け橋となることを目指し、主要な学術機関との確立されたパートナーシップを活用しつつ新たなパイプラインの探索と開発を続けています。詳細は当社ウェブサイト（https://www.tms-japan.co.jp）をご覧ください。

以上

【お問合せ先】
IRに関するお問い合わせフォーム：https://cloud.swcms.net/tms-japanPublic/ja/contact/inquiry1.html